

(対象事業：美術館・博物館の自主企画による諸外国との交流展覧会等の事業)

事業名：日米絵はがきアート交換プログラム
「アメリカ・ボストン美術館からの
絵はがきメッセージに返事を出そう！」

事業者名：名古屋ボストン美術館
(財団法人 名古屋国際芸術
文化交流財団)

連携事業館名：Museum of Fine Arts, Boston
(米国)

住所：〒460-0023

愛知県名古屋市中区金山町1-1-1

TEL：052-684-0101(代)

FAX：052-684-0738

HPアドレス：<http://www.nagoya-boston.or.jp/>



①施設概要

米国ボストン美術館の姉妹館として国際的な芸術文化交流を図る目的で1999年に開館した美術館。ボストン美術館の多様なコレクションから年2回の企画展覧会を開催している。

②事業の意図目的

- ・名古屋ボストン美術館、米国ボストン美術館、日米間の姉妹館チャンネルを活かした日米間の国際交流教育普及事業
- ・日米の美術館同士が協調した教育普及活動の学術的・技術的開発、交流活動
- ・共通の美術作品を媒体にした、異文化間での鑑賞教育活動と、表現創造活動によるコミュニケーションの実現
- ・絵はがきというアナログ媒体による、不特定多数ではなく1対1での直接的な美術表現創造とその伝達活動によるコミュニケーションへの興味を引き出し、日米双方の子どもたちとその家族に国際交流の実体験ができる場の提供

③事業概要

当館と姉妹館である米国ボストン美術館での作品(展覧会)を共通の媒体に、「言葉」ではなく絵はがきに描いた「絵」を通してコミュニケーションを行うプログラム。今回、共通の作品(展覧会)とした展覧会を最初に行っていた米国ボストン美術館にてまず、日本のこどもたちに向けて絵はがきメッセージが描かれた。当館での参加者は、米国のこどもたちから届けられた絵はがきと展覧会の作品資料を観察したうえ、返事を出す相手を決め、伝えたい日本の事柄や自分の好きなものを返事のメッセージとして描いたほか、裏面に英文で自己紹介を記入した。日本と米国の参加者総人数は550人(日米両国共、1小学校からの参加児童含む)を得た。

すべての絵はがきはそれぞれの美術館で展示され、その後、両美術館からのメッセージとともに交換した絵はがきはすべての参加者にエアメールで届けられた。

なお、この事業は継続され、既に2005年度のプログラムが開始している。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 その他 (展示用パネル、美術館からのメッセージカード)
作成した報告書等 その他 (記録写真つき報告書)

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 550 人

内 訳	名古屋ボストン美術館での参加者	227人	(3-17歳)
	弥富町立 白鳥小学校	48人	(7-8歳 2年生)
	米国ボストン美術館での参加者	275人	(2-15歳)

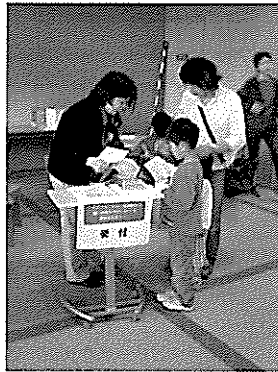
(1) 事業の実施状況について

絵はがき制作期間：2004年5月3日(月・祝)、4日(火・祝)、5日(水・祝)

絵はがき展示期間：2004年5月6日(水)～5月30日(日)

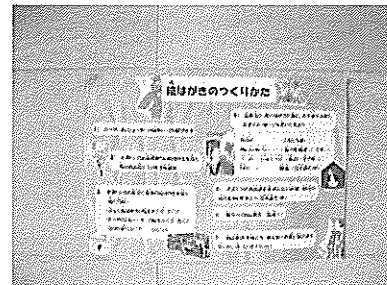
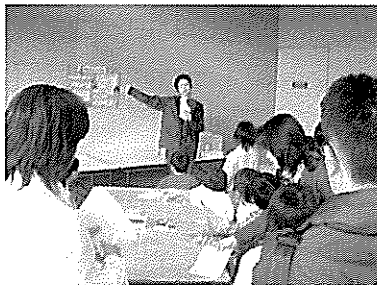
1) 受付で名前を記入

絵はがきメッセージ
を発送するための住
所を所定の用紙に記
入してもらう。

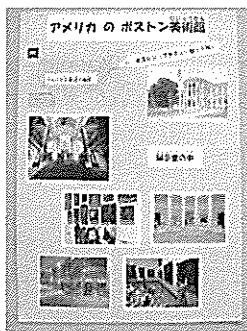


2) 姉妹館であるボストン
美術館①とテーマになっ
ている「ローダー絵はがき
コレクション」展の昔の日
本の絵はがき作品のコピ
ーを紹介したパネル。②③
その作品をきっかけに絵
はがきを描いたボストン
の子供たちの様子の紹介
パネル。④

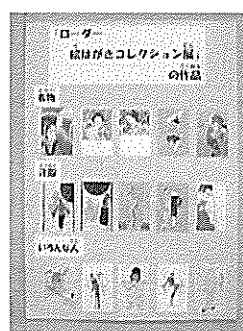
返事の絵はがきの作り方
の説明パネル。⑤
これらを紹介説明すると
共に掲示した。



⑤



①



②

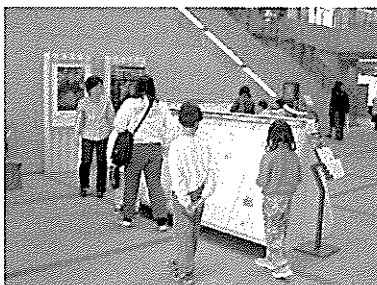


③



④

3) 展示したボストンから
届いた絵はがきから返事
を書く相手を決める。

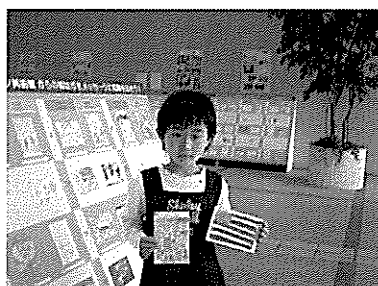
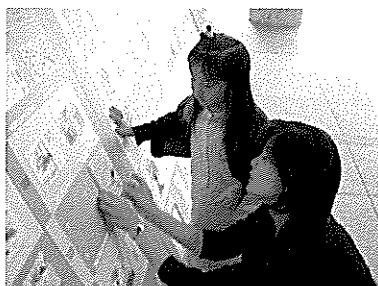
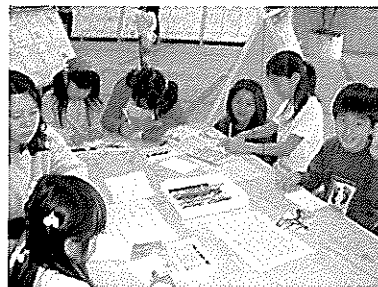


4) 返事の絵はがきメッセージを作成

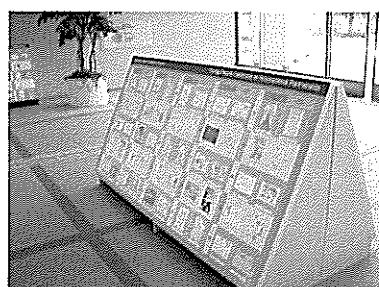
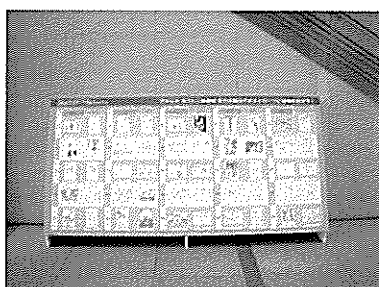
「ローダー絵はがきコレクション」展の昔の日本の絵はがき作品や、ボストンから届いた絵はがきを見て思いついたこと、アメリカの友達に伝えたいこと、日本のことなどを絵はがきに描く。

裏面には絵の題名と、英語であいさつと名前、年齢を書く。

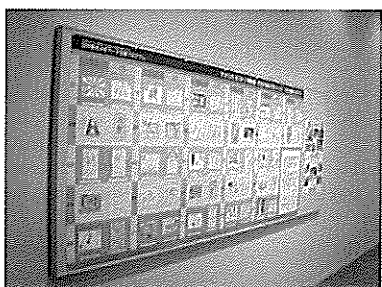
5) 完成した絵はがきをボストンからの絵はがきの隣に展示する。



6) 完成した絵はがきの展示の様子(展示期間 5月6日(水)～5月30日(日))

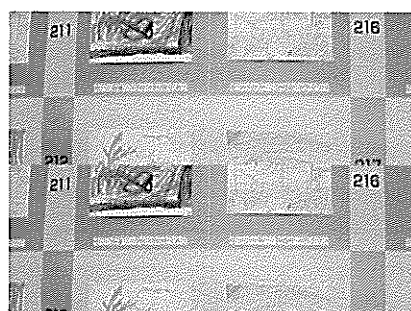
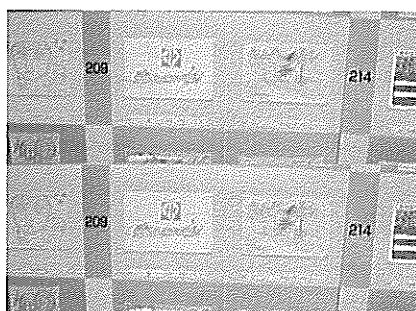


一部館内での展示の様子



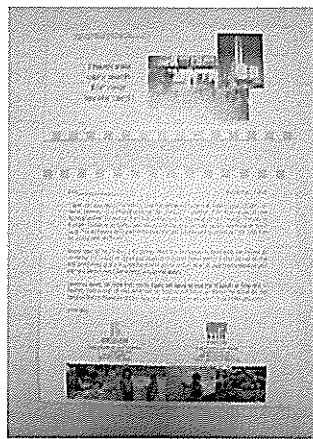
←ボストンと名古屋の参加者の制作風景を紹介するパネル

展示した絵はがきメッセージ。アメリカから(左側)、日本から(右側)の作品。それぞれをペアになるように展示した

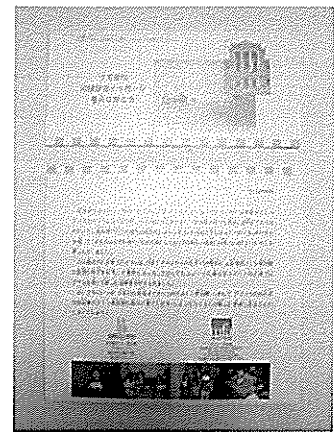


7) 両美術館での絵はがき展示終了後、各参加者へ美術館からのメッセージカードと一緒に絵はがきメッセージを交換送付した。

美術館カードには名古屋・米国の両美術館の外観と、プログラム、展示の写真に掲載し、和文・英文のバイリンガル表記のメッセージを両面印刷で掲載した。



左) 英文表記



右) 和文表記

(2) 地域との連携について

○以前より校外学習として当館の作品を介した交流を行っており、また海外との交流教育にも力を入れている、愛知県弥富町の町立白鳥小学校より本プログラムへの参加の申込みを受け、2年生全48名が追加参加することとなった。実施にあたり、当館スタッフが学校を訪問しプログラムの主旨を案内し、学校内で絵はがきメッセージを制作した。

これに対し、米国ボストン美術館側では、同館にて継続した美術教育プログラムを行っているボストン市内の小学校 Young Achievers School が交流校となり、学校同士での国際交流が実現した。

右上下) 白鳥小学校での制作の様子



○参考：米国ボストン美術館での制作・展示の様子

左) 絵はがき制作記録(絵はがき制作期間 2004 年 4 月 20 日(火)ー4 月 23 日(金))

右) 作品展示の様子(展示会期 2004 年 7 月 28 日(水)～8 月 20 日(金))

